

# 令和7年度事業計画書

公益財団法人熊本市美術文化振興財団

## 【財団の目的】

美術をはじめとした文化芸術に関する調査研究、教育普及、展覧会事業等を基礎とし、美術館等の活発な管理運営を推進することを通じて、教育や福祉の充実、産業の活性化、地域の再生など様々な分野において、文化芸術の持つ創造性を活用し、心豊かな市民生活を実現するとともに都市の活力と魅力を高める、熊本市のまちづくりに寄与することを目的とする。

## 【財団の目的を達成するための事業】

- (1) 美術館等における文化芸術の調査研究等事業
- (2) 美術館等における文化芸術活動の支援及び教育普及等事業
- (3) 美術館等における展覧会事業その他の文化芸術の振興事業
- (4) 前1号から3号の事業を行うための美術館等の管理運営
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

＝ 熊本市からの受託事業 熊本市現代美術館の指定管理業務 ＝

2024年4月1日-2029年3月31日（5年間）：非公募（2年目）

## 【熊本市現代美術館の設置目的】

市民が美術文化を享受するとともに、美術に関する知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与すること

## 【熊本市現代美術館の管理にあたっての基本理念】

指定管理者は、美術館の設置目的と熊本市文化芸術振興指針に基づき、管理にあたる。  
熊本市と指定管理者は、熊本市の文化施策の目指すものを共有し、指定管理者がその補完を行うことができるよう、連携・協力をする。

## 【基本理念に基づき、財団がめざす、熊本市現代美術館の方向性】

### **【ミッション】**

熊本市現代美術館は、多様なものを受け入れる寛容なまちと市民が心豊かに生きることができる未来を創造する。

### **【ビジョン】**

熊本市現代美術館は、一人ひとりの市民にとって、なくてはならない「現代の美術館」をめざす。

## 令和 6 (2024) 年—令和 10 (2028) 年 運営テーマ

### 「思いがけない明日 (あした) へ」

私たちは、すべての市民をウェルビーイングな「思いがけない明日へ」誘うために、多様な市民、団体、行政と連携し、美術館をハブとして多様な価値観に市民が出会い、社会が成熟するためのアートエコシステムを構築します。

### 【美術館の管理に関する基本的業務】

- (1) 来館者が快適に過ごせるサービスの実施及びサービス向上のための工夫 **〔共通〕**
  - ① 基本的なサービス
    - ・利用者の平等な利用の確保
  - ② 来館者へのサービス向上及び館内ホスピタリティの充実
  - ③ 安定した施設管理能力の確保
    - ・職員の資質向上 (研修等)
  - ④ 市との連絡調整、苦情対応
  - ⑤ 新型コロナウイルス感染防止対策取組み 他

## 1. 利用者の平等な利用の確保

- (1) 全ての来館者が等しく利用できる環境づくりのための方策

- ① ホームギャラリーの運営
- ② キッズサロン (まちなか子育てひろば) の運営協力
- ③ アートラボマーケットの運営
- ④ アートスカイギャラリーの運営
- ⑤ その他の館内運営

フリースペースをはじめ、いつでも快適に利用することができるよう、徹底した管理・点検を行う。

子育て世代や高齢者世代、障がいのある方、海外からの来館者に向けた対応をさらに向上させる。

## 2. 公の施設の効用を最大限に発揮するためのサービス

- (1) 美術館広報及びセールス計画の充実のための取り組み

- ① パンフレット等作成
  - ・美術館リーフレット等の作成及び頒布
- ② ホームページ作成、管理及び更新
  - ・ICT の活用 (HP・X・facebook・Instagram・YouTube 等)
- ③ 幅広い広報手段の活用
  - ・アートスカイギャラリーにおけるフライヤー設置での情報提供

- (2) 地域振興・活性化に対する取り組みと、地域・学校・その他団体・施設等との連携の方策
- ① 中心商店街、熊本市各課等との連携
  - ② 教育機関との連携
  - ③ 市内外、県外の文化施設との連携
- (3) サービス向上と利用促進
- ① 事業内容等に関するアンケートを常設し、月毎に集計、分析を行う。
  - ② 各種イベントにおいても、事業内容等に関するアンケートを実施し、次回の事業の参考にして、美術館の利用促進を図る。

### 3. 市民の声が反映される管理

- (1) 利用者ニーズの把握に対する取り組みとその反映の方策
- ・館内アンケートを常設し、美術館や事業に対する来館者の意見を分析する。
  - ・電話やメールでの意見・提案・問い合わせ等について、迅速・真摯に対応する。
  - ・外部審議員とともに取り組む中・長期的な課題の改善と解決。
- (2) 美術館の使用許可、取消、停止命令に関する業務 **〔収益・公2〕**
- ① アートロフト、会議研修室 **〔収益〕**
  - ② 美術品特別利用の使用許可に関する業務一般 **〔公2〕 (2) 公表方法3**
- (3) 美術館の施設維持管理に関する業務 **〔共通〕**
- ① 美術館施設維持管理業務
    - ・設備運転管理業務
    - ・有人警備業務
    - ・清掃業務
    - ・AV設備保守点検業務
    - ・防火設備定期検査業務
    - ・セキュリティ設備・監視カメラ保守点検業務
    - ・調光設備保守点検業務
    - ・放送音響設備保守管理業務
    - ・美術情報システム運用保守管理業務
    - ・ホームページ維持管理業務
    - ・図書装備業務
    - ・施設賠償責任保険・ガラス保険業務
    - ・アートロフト手動式昇降ステージ保守点検業務
    - ・アートロフトプロジェクタ設備賃貸借業務
    - ・電話設備賃貸借業務
  - ② 美術館施設修繕等業務

企画事業 1 美術品及び美術に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関する業務 [公2]

ア 事業内容 1,2,3,4、ア 公表方法 1,2,3、イ

- (1) 美術品の収集に関する業務 (ア 事業内容 1,2)
  - ① 調査及び報告
  - ② 収集委員会の運営支援
- (2) 美術品等の保管に関する業務 (ア 公表方法 2,3 イ)
- (3) 美術品等の展示に関する業務 (詳細は【1】-【5】) (ア 公表方法 1 [公1 (2) ア])
- (4) 収蔵品の利用に関する業務 (ア 事業内容 4 イ)
  - ① 他館への貸出
  - ② 情報公開
- (5) 展覧会の企画・開催等に関する業務 [公1]
  - 【1】メインギャラリーでの展覧会開催 アー1、エ

《目標入場者数：135,000人》

①	やなせたかし展 人生はよろこばせごっこ	
	4月26日(土)～6月30日(月)(57日間)	<目標入場者数：40,000人>
	別紙のとおり	
②	和食～日本の自然、人々の知恵～展	
	7月19日(土)～9月23日(火祝)(58日間)	<目標入場者数：55,000人>
	別紙のとおり	
③	遠山昇司 収蔵庫の鳥たち(仮)展	
	10月8日(水)～12月14日(日)(59日間)	<目標入場者数：12,000人>
	別紙のとおり	
④	漫画家生活30周年 こうの史代展 鳥がとび、ウサギもはねて、花ゆれて、走ってこけて、長い道のり展	
	1月4日(土)～3月8日(日)(55日間)	<目標入場者数：24,000人>
	別紙のとおり	
⑤	第37回熊本市民美術展 熊本アートパレード	
	3月21日(土)～4月5日(日)(予定) (14日間)	<目標入場者数：4,000人>
	15歳以上(中学生は除く)の熊本市在住、在勤、在学者、熊本市出身者ならだれでも無審査で出品することができる公募展です。(審査員：検討中)	

【2】 井手宣通記念ギャラリーでの展覧会開催 **ア-2**

井手宣通の作品を中心に収蔵作品を紹介・展示  
・新規収蔵作品展 他

【3】 ギャラリーⅢでの展覧会開催 **ア-2**

熊本または九州ゆかりのアーティストや文化にスポットを当て、応援する展覧会  
・中村壮志展「漣漣、燦燦 | Echoes」(熊本出身の美術家・映像作家)  
・米村和倫の仕事展(熊本出身・大分在住のイラストレーター、デザイナー)  
・酒井一吉展(長崎出身の現代美術家) 他

【4】 エントランス・階段ギャラリー等への作品展示 **ア-3**

- ① 収蔵作品の公開、子どもの作品展示
- ② まちづくり関連の展示

【5】 次年度以降開催予定企画展の企画・準備 **ア-1,2,3**

**企画事業2 美術に関する調査及び研究に関する業務** **〔公2〕ア 事業内容1,2,3,4**

(1) 郷土の特色ある美術や文化等の調査・研究

- ① 熊本及び九州に根付く芸術文化やアーティストに関する調査・研究
- ② 生人形など収蔵作品に関する調査・研究

(2) 現代美術を中心とした多彩な芸術分野の調査・研究

(3) 美術館運営や人材育成等、文化施策に資する調査・研究

- ① アートマネジメントに関する調査・研究
- ② ミュージアム I PM等に関する調査・研究
- ③ 災害時における文化施設の役割に関する調査・研究
- ④ 外部審議会運営に関する調査・研究

(4) その他市民文化の発展に寄与する調査・研究

- ① 市民参加型文化・芸術プロジェクトに関する調査・研究
- ② アートを活用したまちづくりに関する調査・研究

(5) 上記各号の調査・研究成果の発信

- ① 調査・研究によって蓄積された学術的成果については、美術館活動(展覧会・講演・論文寄稿・出版・ホームページ等)を通じて広く国内外に発信

**企画事業3 美術に関する情報の収集及び提供に関する業務**

(1) 国内外の芸術活動に関する情報等の収集・提供 **〔公2〕ア 公表方法1, 2, 3**

(2) 地元の芸術活動に関する情報等の収集・提供 **〔公2〕ア 公表方法1, 2, 3**

(3) 地元で開催される芸術活動に関する後援等 **〔公3〕イ-3**

#### 企画事業4 美術等の普及並びに市民の創作活動等の指導及び助言に関する業務〔公3〕ア

※ コロナ禍以後の方向性として、より一層の安心安全な運営を目指す

- (1) 展覧会に関連する教育普及及び活動の実施
  - ① ギャラリーツアー
  - ② 探検ツアー
  - ③ 出品作品リスト、鑑賞補助シート等の設置
- (2) 芸術文化に関わる体験や創作活動の場の提供
  - ① ワークショップ等の開催
    - ・アートラボマーケットでの創作活動（ミュージアムショップとの共同運営）
- (3) 文化活動への支援・協力
  - ① 中心商店街等との連携
    - ・ストリートアートプレックスの協働開催
    - ・上通アートプロジェクトとの連携
  - ② PTA 学級活動や子ども会活動へのプログラム支援
- (4) 人材の育成
  - ① 地元ゆかりのアーティストの支援
  - ② 音楽、ダンス等の表現者の発表の機会の提供
  - ③ 美術館における実習や研修（学芸員実習、アートコンダクター研修 等）
- (5) ボランティア活動の支援
  - ① 布絵本、発送、ピアノ演奏、読みがたり等
- (6) 子どもや学生等を対象とした企画
  - ① アートバス事業
    - ・市内小学校の1学級～1学年程度：年間5～6校程度
    - ・高齢者福祉施設（年1回程度）
  - ② アートプログラム（熊本市内の小中学校等へアーティストを派遣）：年間4校程度
  - ③ 1年生ようこそカードの発行（新1年生全員に子ども向け美術館パンフレットを配布。持ってくると大人一人が無料となる。ワークシート参加者に記念品プレゼント。）
  - ④ 子育てひろばワークショップ
  - ⑤ 美術を学ぶ中高・専門・大学生との交流

#### 企画事業5 図録・案内書等の作成及び頒布に関する業務〔公1〕ア-1,2

- (1) 収蔵品等に関する案内書、解説書等の作成・頒布
  - ① アートワークの解説パネル設置
  - ② 井手宣通の紹介冊子配布
  - ③ 井手宣通記念ギャラリーでコレクション展示の案内・所蔵作品展解説シート配布
- (2) 展覧会等の目録を作成
  - ① 展覧会毎に配布する出品作品リスト一覧
- (3) 展覧会等の図録の作成及び頒布

(4) 年報、調査研究の報告書等の作成及び頒布〔公2 公3〕

- ① フリーペーパー「アートキッスレター」(年5回程度発行)〔公3〕イ-2
- ② 報告書「アート・ガマダス」〔公2〕ア 公表方法1
  - ・講演会の載録や、研究論文などホームページにて随時掲載
- ③ 美術館での催し物や活動の内容を、館のホームページにて公表

**企画事業6 講演会、講習会、講座、研究会等に関する業務〔公1〕ウ**

(1) 展覧会等に関する講演会等の開催

レクチャー・カレッジ(担当学芸員による講演会・トーク)

- ・遠山昇司 収蔵庫の鳥たち(仮) 展で開催予定

日時未定

(2) 展覧会記念講演会

- ・やなせたかし展記念講演「やなせたかしの人生」(仮題)

講師: 梯久美子(ノンフィクションライター、芸術選奨文部科学大臣賞受賞作家)

日時: 5月24日(土) 14:00-15:30 他

(3) アーティスト・トーク

展覧会の出品アーティスト自らが展覧会や作品について語る講演会

- ・遠山昇司 収蔵庫の鳥たち(仮) で開催予定

日時未定

(4) シンポジウム・研究会

- ・シンポジウム「文化的処方って何だろう? ウェルビーイングを高めるために」(仮題)

パネラー: 日比野克彦(当館館長)、

池田哲也(幸田まちづくりセンター所長) ほか(予定)

日時未定

**企画事業7 その他、美術館の設置目的を達成するために必要な事業(自主事業)**

1 その他、各種団体との連携

- (1) 市内外の美術、文学、まちづくり等の団体と多様な文化を切り口にして協力、連携体制をとることで市民に対して質の高いサービスを提供

- ・「和食展」での展開(計画中)

- ・大人の工芸「匠の手触り」(市役所イベント): 熊本の工芸品でお酒を飲もう

- ・上乃裏日本酒市(商店街連携イベント): 地酒について知る、味わう

- ・熊本市の「和食」店紹介マップ作成 ほか

- (2) 行政や民間のアートを活用した事業への協力

他

### ※設置目的を達成するためのモニタリングの方策

- (1) 熊本市における、市民とともにある「現代の美術館」の在り方を検証する
  - ・外部審議会を設置し、外部審議員（任期2年）とともに当館の課題を検証し、中長期的な改善に取り組む
  - （本年度は、課題解決ミーティングで把握した課題について専門家に相談する予定で、審議会を設置するかは未定）

### ※熊本市の文化施策への連携、協力のための方策

- (1) 熊本市各課と交流を密にすることで情報を共有する
- (2) 財団が持っているネットワーク・経験を活かして「まちづくり」に関するイベントを実施する
- (3) 上質な生活都市熊本の実現に近づけるため、教育・福祉・産業など様々な分野と連携した取組を進め、アートの視点を通じて地域の問題解決に貢献する
  - ・日比野館長の「ご用聞き」（希望する各課との懇談、2021年度より継続）
  - ・文化政策課、（仮称）文化的処方推進室との連携

# やなせたかし展 人生はよろこばせごっこ

**Yanase Takashi: Life is about bringing joy to others**

2025年4月26日（土）～2025年6月30日（月）

アンパンマンの生みの親・やなせたかしの大規模展覧会です。

漫画家、詩人、絵本作家、イラストレーター、デザイナー、編集者など多彩な活動を繰り広げたやなせは、極上のエンターテイナーでもあり、「人を喜ばせること」を人生最大の喜びとしていました。

その背景には、苛酷な戦争体験、家族との別れ、様々な人との出会いに揉まれ、「なんのために生まれて、なにをして生きるのか」を自身に問い続けた人生があります。

本展は、2026年にやなせたかし記念館アンパンマンミュージアムが開館30周年を迎えることを記念し、原画約200点を中心に、「やなせたかし大解剖」「漫画」「詩」「絵本／やなせメルヘン」「アンパンマン」のテーマからその魅力を紐解きます。



「やなせうさぎとアンパンマン」制作年不明

©やなせたかし (公財) やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団蔵

# 和食 ～日本の自然、人々の知恵～

WASHOKU: Nature and Culture in Japanese Cuisine

2025年7月19日（土）～9月23日（火・祝）

「和食」ってなに？和食の知られざる多様性に迫る、大事典的展覧会。

「和食」は、日本列島の多様な自然やそこに暮らす人々の知恵・歴史を背景に成立し、独自に発展してきました。さらに、外来の食文化を柔軟に受け入れながら、今なお変化し続けています。

「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されてから12年。世界からの注目はますます高まっています。

本展では、多様な食材と、人々の知恵や工夫、歴史的変遷、そして未来まで、身近なようで意外と知らない和食の魅力を鮮やかに紹介します。



メインビジュアル

和食の多様性を示す様々な立体展示  
(大根の多様性)



# 遠山昇司 収蔵庫の鳥たち（仮）

Shoji Toyama Birds in Storage

2025年10月8日（水）～12月14日（日）

熊本県八代市出身の映画監督・遠山昇司は、地域にフォーカスしたドキュメンタリー映画や劇映画を制作すると同時に、アートプロジェクトや舞台作品、芸術祭の統括ディレクターなど多彩な活動を続けています。本展は「世界の残酷さを少しだけ減らす」ことを目標に、表現活動を続けてきた遠山が、日常と非日常のあわいに立ちあげるマジックのような時間、そして空間を市民に体験してもらおうインスタレーション形式の展覧会であり、戦後80年を迎えることを機に、シベリア抑留体験をベースに「鳥」を主要なモチーフの一つとして描いた、小国町出身の宮崎静夫の絵画と、遠山らが撮影した、シベリアと九州を行き来する渡り鳥の映像を対置し、県内外の美術館・博物館におさめられた作品や資料を活用することで、「収蔵庫」の意味を拡張させていくような試みが本展で行われます。

また、遠山が総合ディレクターを務め、同時期に阿蘇郡小国町で開催される国際芸術祭「小さな国 十月」（10月4日～11月3日）と連動しながら、熊本と阿蘇を起点として展開していきます。



宮崎静夫

《友よ》2002年

130.3x162.1cm

油彩、キャンバス

熊本市現代美術館蔵

漫画家生活30周年

## この史代展 鳥がとび、ウサギもはねて、花ゆれて、 走ってこけて、長い道のり

30th Anniversary of Manga Artist

Fumiyo Kōno: Birds fly, rabbits splash, flowers sway, run and skid, the long road ahead

2026年1月4日（日）～3月8日（日）

『夕凧の街 桜の国』『この世界の片隅に』で知られる漫画家この史代の過去最大の原画展です。この2作の影に隠れてしまいがちですが、この史代は、漫画ならではの記号（漫符）をテーマにした4コマや『古事記』をボールペンのみで描く試みのように、漫画という表現への好奇心に満ちた多彩な作品をたくさん生み出してきました。また、アシスタントを使わず一人で描いているため、どの線にも、彼女の気持ちがこもっています。原画で見ることの喜びにあふれた展覧会になるでしょう。本展ではデビュー前の作品から最新作まで、膨大な原画と資料で、全貌に迫ります。



左：展覧会メインビジュアル

右：《長い道》2001年 ©この史代／コアミックス